★ 提案31の賛成意見 ★

好不況の波は幾度かありましたが、Californiaは長らく財政赤字に悩まされてきました。政治家たちの無駄遣い、乱用、借りすぎにより、州政府の歳出は歳入を大きく超えています。そして、予算はCalifornia州民が望む成果ではなく、特別利益団体の影響を基に決定されることが一般的となっています。提案31は、歳入にあった財政運営を政治家に義務付け、政治家に責任を課す上で重要な情報を投票者と納税者に提供します。

2003年から2010年にかけて、無党派の州監査役によりいくつかの州機関に対して行われた監査では、監査役が提案した政府機能改革案を実行し、効率性を改善していれば、税金の無駄使いを約12億ドルも削減できたであろうと報告されています。最近では、統一訴訟管理システム(Court Case Management System)の構築に向けた取り組みに、予算を2億ドル以上上回る5億ドルの税金が投入されましたが、このプロジェクトは58郡のうちわずか7つを結んだだけで中止されることとなりました。

提案31は真の均衡予算を政府に要求し、州民による審査や監視を受けることなく何十億という予算が投入されることを防止します。提案31を採択しない限り、年間何億ドルという、地方の学校や法執行機関、その他の地域の優先事項に有効活用できるはずの税金を、これからも浪費していくだけです。

提案31により増税や納税者の負担拡大が生じることはなく、新たな官僚組織が形成されることもありません。提案31は、既存の財源を利用してその条項を施行することを明確に規定しており、市と郡に税金を還元することで節約を実現します。

提案31に賛成票を投じると、以下を実現できます。

- 公共の意見を取り入れ、透明性を向上させる—州民の審査なく、予算案が決議されることを防止します。現在、州の予算に透明性はなく、州民への報告要件もありません。提案31は、州議会での可決最低3日前に提案された州の予算案を一般に公開することを政府に義務付けます。

- 財政監視と新たな財政支出に対する制約を課す—提案31は、州が2500万ドルを超える新たな支出または歳入減に対して、財源を定めることなく資金提供することを禁止します。
 - 地方の管理能力と柔軟性の拡大—2012年度の州予算では、地方政府の予算が14億ドルカットされました。提案31は最高2億ドルを地方政府に戻し、地域の優先事項に使用できるようにします。また、市、郡、学区に対して、業績を改善し、地方の要件を充足するサービスをより柔軟に構築する権限を付与します。
 - 予算の業績改善と成果報告を義務付ける—州および地方政府に対して、測定可能な結果の達成を予算の焦点とすることを義務付け、定期的に州民に業績報告を行うこと、ならびに追加支出を決定する前にプログラムの有効性を評価することを州議会および地方政府に求めることで説明責任を課します。
 - 州政府プログラムの業績審査を義務付ける—すべての州政府プログラムに対して州民による業績審査を義務付け、業績を改善、あるいは資金をより効率的かつ効果的なプログラムに移行させる方法を特定します。
 - 二年予算を義務付ける—政治家による短期予算を利用した巧妙な策略を防止します。州議会に長期的な財政ソリューションを構築するように義務付けます。
- 提案31に賛成票を投じて、政府支出を削減、州予算に対する国民の信頼を高めましょう。

HON. CRUZ REYNOSO
California州最高裁判事(退職)

HON. DELAINE A. EASTIN
前公立学校教育長

PROF. JAMES FISHKIN, Ph.D.
Stanford大学

★ 提案31の賛成意見に対する反論 ★

提案31により予算が均衡化されることも、公共の意見が取り入れられることも、業績が向上することはありません。

提案31が本当にその公約を果たすことができるなら、私も支持するでしょう。しかし、実際は違います。この法案はCalifornia州憲法に複雑な規則や規制、要件を新たに加えるだけに過ぎません。政府の手続きは今よりもコストがかかり煩雑となる上、処理速度は遅く、効果も薄くなります。複雑で不明瞭なこの法案を完全に理解するには、法廷で何年も議論を重ねる必要があるでしょう。

提案31は、コストの増大、官僚統制の拡大、公衆保護機能の弱体化を招きます。

この法案が成立すれば、地方の政治家は州民の声を聞くことなく、自分たちに不都合な規則を無効にしたり、変更するようになるでしょう。そうすると、空気の質や公衆衛生、安全な職場環境の保護システムが弱体化することは避けられません。

提案31により、減税や教育基金の増加を実現することはまず不可能です。

この提案では、その他の税を増徴するかプログラムを削

減しない限り、減税をすることも、学校への資金を増額することもできません。

提案31には数々の不備があり、支援団体のメンバーの中には、この提案の提出に抗議して辞職した人もいます。

提案31の支援団体California Forward Action Fundの前役員、Bob Balgenorthは「提案31には重大な不備がある . . . Californiaにとってさらなる害となるだろう」と発言しました。また、その辞表には「この州民発案の不備を是正することなく、California Forwardが州務長官に署名を提出したことを非常に遺憾に思う」と記載されています。我々は、これ以上、欠陥法案を受け入れるわけにはいきません。提案31に反対票を投じてください。

ANTHONY WRIGHT、エグゼクティブディレクター
Health Access California

LACY BARNES、シニアバイスプレジデント
California Federation of Teachers

LENNY GOLDBERG、エグゼクティブディレクター
California Tax Reform Association

★ 提案31への反対意見 ★

提案31の内容は非常にお粗末で、改革を実現するどころか、訴訟と混乱をもたらすことが目に見えています。

改革は全州民の願いですが、提案31は官僚機構を追加し、新たな問題を生み出すだけです。この法案の結果、制約と不明確な要件が幾重にも課され、減税を許可すべきか、プログラムを変更できるかといった重要な決定は投票で選ばれたわけでもない役人の手に委ねられます。こうした決定は混乱を生み、毎年のように法廷に持ち込まれることになるでしょう。我々が必要としているのは、さらなる訴訟ではなく、真の改革です。

提案31では、2億ドルもの資金が教育をはじめとする重要な分野から郡の試験的なプログラムに移行されます。

日々財政難に苦しむ我々のどこに、そんな余裕があるのでしょうか。また、州予算の大部分が教育に充てられているにもかかわらず、この法案は年間2億ドルの州歳入を郡の試験的プログラム専用口座に移譲するとしています。限られた資金で賭けをする訳にはいきません。資金はすべて、州内の重要な優先事項に活用すべきです。

提案31では、十分な資金がある場合でも税を引き上げるか、その他のプログラムを削減しない限り、教育分野への資金提供を拡大することができません。

また、奇妙なことに提案31では、実際には利用可能な資金がある場合でも、増税やプログラムの削減を実施しない限り、教育などのプログラムに改善を取り入れることも、学校への資金を増額することもできません。この法案が成立すれば、学校への追加資金は何年間も凍結される可能性があります。

提案31では、州の財政が黒字であろうと、増税やプログラム削減を実施しない限り減税は許可されません。

これらの税関連条項の相反する性質から、財政が黒字であろうと、ある税を減税するには別の税を増税しなければならないという奇妙な状況が生まれます。これは減税を防ごうという意図があるか、別のケース、深刻なケースでは条

項の起草時に間違いに気付かなかったかのどちらかに違いありません。そして、提案31はこの不備を州憲法に組み込もうとしています。

重要な州法を無効または変更する権限を郡に与える提案31は、州の公衆衛生、水質、公共安全に対する脅威です。

Californiaは、公衆衛生の保護、空気および水の汚染防止、市民への安全の提供に関して州全体で共通の基準を確立しています。提案31には、地方の政治家が住民投票を行うことなく、そして乱用を防止する有効な方法を定めることなく、これらの法律を変更または無効にすることを許可する条項が含まれています。

提案31により、政府がとうの昔に行うべきであったことを実行するために、余分な手続きや官僚機構が生まれ、年間何億ドルという費用が費やされることとなります。

成果主義の予算編成は単なるスローガンであり、その試みはこれまでも幾度となく繰り返されてきました。その結果として、1つははっきりとしていることは、コストが増大するということです。無党派の州議会アナリスト事務所(Legislative Analyst's Office)が実施した公式財政分析では、新たな予算編成過程を取り入れても業績が改善される保証はなく、政府の負担が年間数千万ドル増大すると結論付けています。負担は確実、結果は不確実な法案が必要でしょうか。

California州に改革は必要ですが、提案31は現状を改善するどころか、悪化させるにすぎません。私たちと一緒に提案31に反対票を投じてください。

SARAH ROSE、会長

California League of Conservation Voters

JOSHUA PECHTHALT、プレジデント

California Federation of Teachers

RON COTTINGHAM、プレジデント

California州保安官研究協会

★ 提案31の反対意見に対する反論 ★

「提案31は、州および地方政府の透明性を高め、州民による審査と監視を実現します。この政府説明責任法案は、納税者が特別利益団体やロビー組織に利用されない体制を整えながら、環境保全および労働者保護を実現します」

—Hon. Cruz Reynoso, California州最高裁判事(退職)

「今こそ、California州の予算過程に注目する時です。数十億の赤字に右往左往する現状を変えなければなりません。我々に必要なのは、旧態依然とした体制ではなく、実践的な改革です」

—Professor James Fishkin, Stanford大学

「提案31には、お金を借りて使おうとする州の誘惑を弱める効果があります。また提案31により、地方政府や地域の学校の、教育向上と公共安全の強化に重点的に取り組む意欲を高めることができます。提案31に賛成することは、California州の学校と学生を支援することに他なりません」

—Hon. Delaine Eastin, 前公立学校教育長

提案31に賛成票を投じると、以下を実現できます。

- 増税または政府支出の増大を防ぐ。
- 州政府が存在しないお金を使うのを防ぐ。
- 現在、非公開で行われている予算過程の透明性を高める。
- 州政府から市および郡に、さらなる管理権限と柔軟性を移行させる。
- 州および地方政府に、支出を追加する前に業績を州民に報告することを義務付ける。

提案の詳細はwww.sos.ca.govでご覧いただけます。政府支出のさらなる無駄を排除するために、皆様のご支援をお願いします。

提案31は最も厳格な憲法改正要件を満たしています。本法案の内容は慎重に熟考されたもので法的に有効であり、California州の予算過程と運営制度を確実に改善します。

BILL HAUCK、前会長

California Constitution Revision Commission